

院内トリアージについて

当院では院内トリアージを実施しております。

トリアージとは、診察前に専門知識を有した看護師が症状をうかがい、患者様の緊急度・重症度を判断し、より早期にケアを要する患者様から優先して診察する方法です。

場合によっては、診療の順番が前後することがあります。

皆様のご理解、ご協力をお願い致します。

JTAS(緊急度判定支援システム)

レベル	診察の必要性	症状の特徴例	再評価の目安
蘇生 (Blue)	直ちに診療・治療が必要	心停止 重症外傷 痙攣持続 高度な意識障害 重篤な呼吸障害 など	治療の継続
緊急 (Red)	10分以内に診察が必要	心原性胸痛 激しい頭痛、腹痛 中等度の意識障害 抑うつ、自傷行為 など	15分毎
準緊急 (Yellow)	30分以内に診察が必要	症状のない高血圧 痙攣後の状態(意識は回復) 変形のある四肢外傷 中等度の頭痛、腹痛 活動期分娩 など	30分毎
低緊急 (Green)	1時間以内に治療が必要	尿路感染症 縫合を必要とする創傷(止血済み) 不穏状態 など	1時間毎
非緊急 (White)	2時間以内に診察	軽度のアレルギー反応 縫合を要さない外傷 処方、検査希望 など	2時間毎